

“Heart to Heart”

心から心へ わかちあう あたたかさ

第2巻 第2号 (No.6)
発行日 平成19年12月8日

目次:

辛抱強い付き合いを	1
コラム：母子の心の繋がりを育てる	2
活動報告	2
療育プログラムのようす	3
ギャラリー紹介	4
セミナー等のご案内	4

辛抱強い付き合いを

本年も残り少なくなってきました。月日の経つのが速く感じられる昨今ですが、保護者の皆様にとってこの一年間を振り返って見た時に、子どもたちの変化、成長もそれぞれに大きかったのではないかと思います。

子どもの成長は、たとえ健常の子どもであってもなかなか親の思い通りにならないものです。発達につまずきのある子どもの場合は殊更に、その成長への想いは切実で一足飛びの成長を期待するのも無理からぬところですが、しかしながら、当の本人の心の内を大人のことで代弁してみるならば、『私は、自分なりに完璧な成長を続けているのです。どうぞ辛抱強く付き合ってください。』といったところかも知れません。

当センターの療育の様子を見ていますと、年間の中でも集中力や落ち着きのなさが目立つ時期があります。天候や季節など生理的なこと、大きな学校行事の影響など何か直接的な原因があるのかもしれませんが、いずれにしても長期的な視点をもつ必要があります。この子たちの成長の様子は、例えば円柱の塔に廻らしてある螺旋階段を上る姿になぞらえることができそうです。裏側に回っている時には子どもの姿が見えません。これまでの成長がストップしてしまった、あるいは下降しているのでは、と感じる時です。しかしこのような時に、子どもは成長の見える表側と充電期間のような時期とを併せもちながら一段ずつ着実に上っているのだと信じることは、子育ての

大きな支えになります。周囲の大人の思いは確実に子どもに影響を与えています。要らぬ迷いに振り回されることなく歩んでいきたいものです。

また、客観的に我が子の状態を把握するよう努めることも大事なことです。心配とは逆に『うちの子に不足しているのは友達とうまく付き合うことだけで...』と楽観的な声を聞くこともあります。本人の課題点を突き詰めていく態度は日々の教育にとって有効です。友達とうまく付き合うためには想像以上に多くのスキルや内面の育ちを必要としますし、これらの習得はそれほど簡単ではありません。このようなことを含め、今後とも当教育センターが子どもの家庭や学校での過ごし方に変化を与えるきっかけをつくることができれば幸いです。

さて、先月後半に平成20年度の療育プログラムを発表し、申し込みを開始しました。次年度は年長児の4時間30分スクールプログラム、年中・年長児及び小学校1・2年生対象の音楽教室、中学校1・2年生対象の生活体験講座を新設しました。また年少児に子どもみのスクールプログラムができ、体育教室とサマープログラムの対象に小学校5・6年生が加わりました。本年度に増して充実した療育を展開していきたいと思えます。

今年は夏の猛暑に加え、今後は寒い冬になるようです。どうぞご家族の皆様共々お元気で新年をお迎えください。

長内博雄(武蔵野東教育センター所長)



コラム 自閉症児の子育てから(1)

岩崎 敦子(保護者、学園アドバイザーボード)

母子の心の繋がりを育てる

私の娘は二歳半を過ぎても言葉もしゃべらず、隙をみては家から脱走していました。公園等でやっと見つけた私を見ても、能面のような表情は変わらず、私のことを母親と分かっているのかどうかも怪しいものでした。その頃病院に連れて行くと、自閉症らしいと言われました。そして母親との関係をつけるようにと指導されました。家で一緒に遊ぼうとしてもまったく関心を示さず、途方にくれた私に、娘に水のこだわりがあるのなら水泳教室に入れたらと友人がアドバイスを下さいました。早速申し込みに行き状況を説明したところ、娘一人で

ラスに入るのは無理だろうから、お母さんと一緒に泳ぐのはどうかと言われました。しかもそのコーチは、自分の昼休み中にプールサイドで見えてあげると申し出て下さったのです。それから週に1、2回、娘と一緒にプールに入りました。大きなプールには、昼休みなので娘と私だけしかいません。大人用のプールですから、娘は立つこともできず、泳ぎも出来ず、ただ傍にいる私にしがみついていたのです。何回が行くうちに、娘は自分を助けてくれるのはこの人だと

私を認めるようになりました。そして水が大好きな娘はプールに入るのが嬉しくて、にこにこしながら私についてくるようになりました。これがきっかけとなって、娘との精神的なつながりを感じられるようになり、本当の子育てを始められるようになりました。娘との心の繋がりが出来てどれ程嬉しかったかと、30年前のことをつい昨日のことのように思い出しながら、あのコーチに心から感謝しています。



このコラムは4回シリーズでお届けします。

【活動報告】

茶話会 今年度からはじまった茶話会も4回を数えました。講師の方に来ていただき話題提供していただいた後に情報交換をしたり、いろいろな年齢層の方々が一つのグループを作り近況報告や地域の情報を交換したり、ミニエクササイズをして参加者の方々の親睦をはかっています。毎回楽しくそして何か一つ子ども達の支援に役立つお土産を持って帰っていただくことができていると、参加者の方々から感想をいただいています。まだ、参加されたことのない方は、是非一度ご参加ください。明日への活力を持ち帰ることができ、多くの方々と語り合うことで、心も体もリフレッシュすることができると思います。



第4回茶話会

サマープログラム 今年のサマープログラムは8月3日～7日、11日～15日の2回に分けて実施しました。96組の親子が、猛暑にも負けず毎日元気よく通ってくれました。幼児は、夏にちなんだ製作、小学生は、算数では時計、国語では電話の学習に取り組みました。額に汗しながら一生懸命に様々な活動にチャレンジした経験はきっと子どもたちの自信につながったに違いありません。また、保護者の皆さんにとっても「熱心で心優しい多くのお母様方と知り会えたこともプログラムのおかげです」という感想にみられるように、有意義な研修、交流の場になったことと思います。



セミナー 第4回セミナーは「私が今こうして皆さんにお話できるのはすべて子どもたちが教えてくれたものです。それを伝えるのが私の役割だと感じています」という言葉どおり、新堂雅彦先生(武蔵野東中学校 教頭・美術教諭)が子どもたちに注ぐ暖かいまなざしや生き生きとした作品が次々と披露されました。参加者からは「絵を描くためのたくさんのヒントをもらいました」「完成の喜びを感じさせてあげたい」「必ず褒めるところがあるはずです」という先生の言葉を実践していきます」などの感想が寄せられました。



午後の講演は、今野義孝先生(文教大学教授)の「動作法は、障害をお持ちの方も大人もおじいちゃんもおばあちゃんもみんな『ア八体験』ができるんですよ」という言葉から始まりました。心と身体の調和的な結びつきを整えることによって、情緒や認知の改善を援助するという理論を話された後、今野先生のお手本に従い、参加者どうしが手で「ふわ～、びた～」と肩、頭、背中、足の土踏まずなどに触れていくと、異口同音に「肩こりがとれました」「足でしっかり体を支えていることが感じられます」など、緊張感のほぐれを体感した講演でした。

ファミリーデー たくさんのご家族の参加を得て、夏休み終了間近の8月29日にファミリーデーとしてリーグの川崎vs名古屋の試合を観戦しました。サッカースタジアムに来るのは初めての子どもも多いようでしたが、接戦となった試合に、ブンブントオルを振りながら、大いに声援を送って家族や仲間と楽しいひとときを過ごしました。この場をお借りして、ご協力いただいた富士通と川崎フロンターレの皆様へ御礼申し上げます。



【ギャラリー紹介】

今号は、夏から秋にかけての作品を紹介します。お皿とペン立ては、8月に行なわれたサマープログラムでの力作です。今にも動き出しそうなクワガタは、3・4年生による作品、その他秋やハロウィーンにちなんだ作品も目白押しです。紅葉の輝く樹木は1・2年生、おいしそうな柿や栗、キノコ、お月見だんごは幼児が楽しみながら仕上げました。右端は、いもほりや縄跳びをしている人の姿の模写絵画です。当センターでは模写を多く取り入れて指導しています。顔や胴体、手足の描き方や動物・物の形などを繰り返し学ぶことで、描くことに自信がついてきて、何を描いてよいかわからないことの多かった自由画も自分なりに工夫を加えた作品に仕上げられるようになります。そしてなにより絵が好きになってきます。



武蔵野東教育センター

〒180-0012

武蔵野市緑町2-1-10

電話 0422-53-8585

FAX 0422-53-8595

Email: education-center@musashino-higashi.org

ホームページもご覧ください

<http://www.musashino-higashi.org>

【セミナーシリーズのご案内】

平成19年度は5回シリーズで実施しています。毎日の生活や支援に役立つ実践的な内容となっておりますので、どうぞ受講ください。第5回は「リトミック教育とは」と「コミュニケーション機能の発達と支援」の講演を予定しております。

【第5回】平成20年1月26日(土) 10:00～15:00

10～12 杉本 明(リトミック研究センター理事)

13～15 石垣まゆみ(言語聴覚士)

見学会のご案内

武蔵野東学園(幼稚園・小学校・中学校・高等専修学校)の見学を希望される方は、平成20年2月14日(木)に見学会を実施しますので、どうぞこの機会にご覧ください。ホームページの申込フォームか電話でお申し込みください。12月12日より受付を始めます。